

「会館（集会施設）設立についてのアンケート」

自由意見集

2022(令和4)年10月に実施したアンケートにて、自由意見として寄せられたものすべてを掲載しました。原文のまま掲載していますが、明かに誤字や脱字と思われる箇所等については修正しました。

小田急金森泉自治会館設立検討委員会

設問1-① どの点でご理解いただけましたか。 へ寄せられたご意見

№01

理解はしましたが、必要とは思わない。

№02

理解は出来たが、当初の設立目的とは時代背景が違うので、集会施設の必要性は全くない。したがって今まで積立した費用で防災備品の準備の積み増しと倉庫としての施設の考え方への変更が必要。これからは、人口減少の時代に入ると同時に超高齢化社会へ入っていく。各自治会では、施設の維持管理費を鑑みると「集会」施設ではなく、「備品格納倉庫」施設を設置すべきと考える。

№03

様々な活動に利用。

№04

ふれあいもみじ館が利用できなくなる可能性がある。

№05

自治会共有物、情報保管。

設問1-③ どの点についてご理解できなかった、また不明点がある。
へ寄せられたご意見

№01

なぜ事業規模が3,000万円なのか不明です。

№02

ランニングコスト50万円の予想費用詳細、利用予想（自治会のルーティン使用頻度、継続するイベントの予想）。

№03

積立たお金は他の用途（会館所有以外）を含め、計画を持ち寄って議論するという結論だったと理解しています。このアンケートはその内容に適合してないように思います。

№04

運営や経理の具体的詳細内容

「アドバイザーからの助言」を先に知りたい。

№05

集会施設の必要性について

№06

意義、意味

設問2 集会施設建設の可否採決の前の事前説明会について へ寄せられたご意見

№01

随時「いずみに集う」などにて経過報告、進捗具合等を知らせていただければ開催の必要はない。

№02

建設を前提とした説明会は必要ない。

№03

可否採決に必要なものがない場合は開催する必要がないと思う。

№04

開催して欲しいが多忙のため出席できない。

№05

現在示されている情報以上が期待できないため必要ないと判断します。

№06

ぜひ開催して欲しい

設問3 会館（集会施設）設立については、次期総会（来年4月）にて可否の採決をいたしますが、その採決方法についてお尋ねします。へ寄せられたご意見

№01

どちらとも言えない。

№02

将来に影響する重要な内容のため、全世帯を対象に2／3以上の賛成で可決すべき。

№03

可否を判断できる内容がそろそろまでは採決できない。

№04

半数の賛成では少ないと思います。

№05

説明不足の状態では採決を行うことに反対します。

設問4 自由にご意見をお書きください。へ寄せられたご意見

№01

年代別の賛否を知りたいです。ふれあいもみじ館使用継続の詳しい問題点

№02

○会館設立の必要性・利便性は一応理解しましたが、1-③の「将来の経費負担について」「集会施設の管理運営について」は不明点として残ります。

○施設の維持費は年50万円程度という事ですが、それで不足か余るかは全く想像できません。ただ、実際に利用が始まれば当然敷地、建物、什器備品等の清掃等が必要になります。自分たちの会館だから自分たちでという心意気は必要でしょうが、泉自治会も相当の高齢化ですので、一律に労働を割り振ると高齢者にはかなり重いです。自治会からの脱落もありうるので、その辺の配慮もお願いします。

№03

自治会や子ども会がいつでも自由に使用できる集会所として「自治会館」を是非設立していただきたいと思います。

広さ的に難しいかもしれませんが、災害時等の為の備蓄倉庫のような設備もあるといいと思います。

維持費変動に備え、収益の出る行事等も必要になるかもしれないですが、アイデアが出る事を期待しています。

№04

長年この問題に携わってこられた役員の方々、本当に御苦労様です。自治会館をもっていないのは、この町内だけではないでしょうか。どうか工事着工までがんばって欲しいと思います。

№05

コロナのこの時代に人が集まるのか？ 集まれるネットワークなのか？ と読んで思いました。

ベテラン世代は代々ご近所付き合いの中で形成されたネットワークなので、絆や関係性があるが、若い世代はどうなのか？ というのをこの施設とどう結びつのか一度考えてほしい。

小田急団地の人々が年代、性別問わない施設づくりをすれば班長を含む色々な人達が負担にならない様に進めて頂きたい。

建てたはいいけど何も使えない、誰もいないとなると1,500万円は無駄になるので、一度立ち止まって議論をしてほしい。

№06

コミュニケーションの場を自前で持つ必要があるのか疑問。維持管理の役員負担が増えるだけで、利用率<管理コストとなる様に見受けられる。事務局スペースも書類等データ化すれば箱物は不用になる。SDGsやペーパーレスだと言う世の流れに反して旧世代的な箱物での解決は後の世代に負担だけ残すだけ。

「ふれあい館」の利用率が低いなら自治会でもっと利用してあげれば良いのでは？ 単純にその様に考えます。ふれあい館を利用しやすくするために市と交渉できないのでしょうか？

№07

小田急団地としての発足当時からの皆様の強い希望だった事でしょう。ただ、最近2世（当時の子供）や新規参入の方々の自治会参加の推移はどうでしょう。会員数の減少はどうでしょうか。役員、班長の在り方、新会館の管理維持方法も気掛りです。

№08

自治会が固定資産を所有するのは不安です。

№09

自治会館設立についての自由意見および質問事項

設立検討委員の皆様、会館設立に向けてのご尽力大変感謝しております。誠に勝手ながら下記の通り意見・質問を述べさせていただきます。

1. 高齢者施設がどこも利用率が低下しているという。自治会館も同じ状況では？

他の自治会館の利用率は？

2. 自治会館の役割は？ コミュニケーションの場がない… 喫茶店や他の会館。自分たちだけのコミュニケーションの場は必要か？ 過去の資料や班長の引き継ぎ書、防災資料などの書類を置く場所がない… 置く場所があればどんどん物が増える可能性が高い。これからはデジタル化したほうが良い。

3. 役員会等の会議は今まで通りで何ら不都合はなく、今後オンライン会議の導入や資料をホームページ上に保管するなど工夫をすれば場所はいらぬ。世代交代などで、あと10年も経たないうちにデジタル化しても支障がなくなるのでは。

4. 維持管理費を出来るだけ明確にしてほしい。固定資産税がかかるのか？ 光熱費はいくらかかるのか？ 修繕費は？ 耐久年数は（建て替え時期）？

5. 日々の維持管理の負担が増えるのでは？ 鍵の管理やスケジュール管理（オンラインでは無理でしょう） 掃除や敷地の雑草管理など、誰が管理するのか？

6. ふれあいまみじ館の建て替えに伴い、一室提供してもらえば良いのでは？ 外から入れるようにしてもらえば我々だけで使えるのでは。 さらに年間利用料を支払えば（予算50万円以内）もみじ館の利用率もあがり双方メリットがあるのでは？ そうすれば災害時にもみじ館を利用しやすい。

7. 最大で1,500万円もの市税が使われるのに罪悪感がある。私たちの世帯は40代で、今後20年、30年住み続ける予定の者としては1,500万円の市税を投入した自治会館が負の遺産となりそうで心配だし、使う予定もない。さらにその次の世代である子どもたちにも意見を求めたところ、箱物（会館）は不要で今まで通りどこか借りれば良いという回答だった。長年自治会館設立実現の可能性を模索し予算も積み立てて来た経緯は十分に理解できるのだが、当初とは世帯の構成など（高齢化、空き家増加、班長不足）や社会情勢が異なり、有効活用し維持管理をするだけの力がこの自治会にはないと考え設立に反対する。

№10

役員の皆様におかれましては地域のコミュニティーのため、活躍されていますこと感謝申し上げます。真にありがとうございます。おまかせ致します。

№11

会館の設立は気運が高まっている時を逃すと、次はいつになるかわからないので、ぜひ実現させたい。

№12

自治会集会施設を造ることは、これまでの総会で進めることを決めていたと思う。改めて可否を採決することの位置づけはどうなるのか？

建物の大きさは法制限から出しているが、それは最大できる大きさであって、別の視点から考えた方がよい。使用目的や建設費などから、また2階建てにするか平屋にするかが重要で、平屋では建築面積＝延べ床面積となるので建物の大きさは30坪(約100㎡)になる。

このあたりの数字から部屋の大きさ、配置などの検討を始めるのが良いと思います。例えば2階建てにすると階段のスペースがいる、トイレの数も増える、内装制限も厳しくなるなど。なお、敷地内に擁壁があったりして有効な建物を建てる面積はもう少し狭くなるのではないかと思う。

№13

自治会館設立検討委員会の皆様、ご尽力いただきありがとうございます。

№14

先人たちが長年に渡り積立てて来た会館設立準備金がほぼ予定金額に達した事と、強い思いをもって会館設立を望んで来た人々が高齢化して来ている事からも、このチャンスを活かして欲しい。集会施設の活用については、若い人達にアイデアを出して欲しい。そして、利用の活性化に繋げていけたらと思う。

№15

①最も気になるのは「いずみに集う」第2号に「市内には…「ふれあい館」が6ヶ所ありますが、いずれも利用率の低下になやまされている…」とあるが、結局自治会館を建設しても、利用率の低下に悩むことになるのではないか？ 他の地区の自治会館の利用状況も広く調査すべきではないか。

② 建設する前に、完成した場合の月間、年間の利用シュミレーションを行って稼働率がどの程度見込めるかを予測しておく必要がある。

③ 今後30年程度を見越した長期的な維持・管理・運営費を見積もってコストとメリットを比較し、若い世代の自治会員が、会館を持つメリットを実感してもらう必要がある。

№16

自治会館の建設予定地は50年程前大規模な焼却施設があり、当時焼却灰を山積みしていた場所と記憶しております。

埋立地でもありますので、地盤及び地質(重金属の有無等)を調査しておいた方が良くと思います。

もみじ館の建設にあたり、町田市が上記の調査を実施した記録があるのであれば、参考にしても良いかと思えます。

№17

千載一遇のチャンスですので早く作ってください。災害は待ってくれません。災害(防災)拠点期待しています。

№18

○柳橋会館の利用状況が知りたい。どんなグループが、どの程度使用しているのか。

○事務局が必要ならアパートの一室を借りて使えば良い。

○ふれあいもみじ館が使えなくなる可能性があるというが、用途を広げて自治会でも使えるように変わる可能性もあるのではないか。

№19

- ①資金計画（建設費、付帯設備費、什器備品費、維持管理費、修繕費等）の用途について。
 - ②自治会事務所及び防災拠点としての規模、構想の妥当性について。
 - ③自治会館の運営管理について
- 以上3点等その他、一連の経過説明を何回か持って採決する必要があると思っています。

№20

特定の「つどい」の使用上限（例・週2回まで）を設けて欲しい。1つの集団に占領されるのを防ぐため。

№21

自治会の会館がいよいよ現実的になりつつあり大変にありがたい事と思います。ここまで来る長い年月、歴代の会長様はじめ歴代の多くの方々の熱意とご足労のおかげと感謝しています。

地域にみんな（老若男女）が集える場所があることは安心して豊かな暮らしの助けになると思います。今、世の中は盛んに居場所作りが叫ばれているようですが、集う場所があることによっていざという時にお互いに助け合えるような顔の見える関係作りに役立つのではないのでしょうか。

№22

集会施設に会館使用ノートを常に置いておき、使用した人は日時・人数・目的等を記入するようにしたら良いと思います。

№23

事務局としての場所、防災本部としての機能が必要であることは賛成しますが、建物を建設することについて、建設後、建物を維持すること、管理することに不安があります。今後、自治会員が減少し費用が集まらない可能性、建物の管理はどのようにやっていくのか知りたいです。

逆に「ふれあいもみじ館」の施設利用について、市へ要望を出し、結果として役員会では使用出来ないことが確定してから建設を検討しても良いように思います。

№24

- デメリットの検討がなされていないように感じます。
- 設立についても具体性が欠けていて、費用の見積もりの妥当性が判断出来ません。

№25

集会場は畳敷きでなく木材フローリングで多目的に使えるし、椅子を使用する事で、高齢者が楽になり参加者が増えると思います。備品代はかかりますが！

№26

自治会活動の拠点として必要。発災時に連絡する所が無く、わさび田公園に防災本部を立ち上げ機能するまでに人力と時間を要することから事務局が必要と考える。

№27

非常事態や困ったこと等が発生した時にも、自治会の皆様が助け合い、協力し合える場として会館が必要です。そのために、会員の皆様のコミュニケーションを深めることが大切です。

コミュニケーションを深めるために会館で会員の皆様が興味を持って参加できる活動を色々と企画して欲しいと思います。

№28

とりまとめありがとうございます。引き続き対応宜しく願います。

№29

家族の次に大切な人の関係が地域だと思います。人々が知り合いとなる助けになるのが集会施設ではないでしょうか。地域の人を知れば知る程、安心な所に住んでいる実感が増してきます。

№30

①ミニキッチンが欲しい。お茶会や雑談の場に、又は災害時に暖かい飲み物が必要。
②経費負担や管理運営をもう少し具体的に記載して全世帯を対象に過半数の賛成で可決して欲しい。

№31

自治会館ができる事で金森泉自治会独自のイベント他、また自治会会員の皆様との交流の場として利用できると思いますので、ぜひ自治会館の建設をよろしくお願い申し上げます。

№32

班長の負担はどの程度になるのか心配です。

№33

別になし

№34

80歳を過ぎた身としては早く会館を設立して欲しいと希望します。

№35

管理・維持費などの負担と公平性などは一定としていけるのか？
設立後の敷地内及び会館の清掃などの負担。必要性とのバランスはどうなっているのか？

№36

いつもお世話になります。まず本アンケートの回答（意見も含め）公開して頂けるのでしょうか。

2022年4月に決議された検討委員会の進捗内容がわかりません。

各回の議事録はどこかに公開されているのでしょうか。されていないのであれば、今後公開する計画はありますか。

意見としては会館を建設するしないにかかわらず、情報の公開、プロセスの透明化が必須かと思います。

反対意見を封じ込めるような前提の議論には賛成しかねます。

№37

小川地区では、映画上映等行っているようです。地域住民の憩いの場として、よろしく申し上げます。

№38

分譲初期の土地購入者から居住者が変わっていく中で、自治会に入会しない人も増えてきており、今後毎年同額の収入が得られる保証のない中「今まで」よりは「この先」を見据えた計画でないと賛同しかねる、というのが私見です。
現時点では初期メンバーと新規メンバーとの温度差は否めず、人によっては黙って脱会する会員も出てくるのでは？と思います。時代が変わる中、「建てて良かった」と後世の人も思えるような計画でない限り、半数の賛成での決定では危機感を覚えます。

№39

自治会館の設立に向けて日頃より検討委員会や役員の方々に色々のご苦勞頂いている事に感謝しております。

会館設立にはその必要性を強く感じていますが、新設ではなく現在のふれあいもみじ館を有効に活用する道はないのかとも思います。市内の各ふれあい館の利用率低下により今後根本的に運営の見直しが行われる予定であるなら、自治会館との共存を図れる可能性もあるのではと思います。積立金も改修費にまわし、地域の新たな拠点として使いやすい施設に見直していければと考えます。

法律の関係で難しい面もあるのですが、新しい施設の建設を考える前にまずは今後もみじ館を自治会館としても活用できる余地は全くないのか、その方向性も探って頂きたいと思います。

№40

以前、金森自治会と共同の自治会館の建替についてのアンケートを取った時に役員をしていました。その時は立地が坂を登ったあちらの自治会内にあった事や、自己資金が今ほどなかったのも、各戸の負担がどの程度出るのかも不明である事などから反対に決まったと思います。あれから会員の方々が会館を作るために積立てきたお金も貯まってきたので是非建ててほしいと思います。また自治会の加入率もこれだけ高いのに会館を持たないというのは不自然だと思います。

№41

高齢者施設でさえ利用率が悪いなら、会館を現役世代が使うことはほとんどないと思います。役員会に必要なことですが、10年後はもう紙の会報を配布することもなくなっているでしょうし、毎月皆が集まることもないのではないのでしょうか。
現在のように毎月1~2回、役員になると日曜日仕事を休まなければならないように自治会の加入も減っていくと思います。
あまり使われない会館に年50万円はもったいないと思います。

№42

1. 可能であればみずき山がベスト。
2. 自治会館の使用頻度と維持費用の捻出。
3. 昨今、誘拐、行方不明、事件等発生、また、空巣、暴行等を考えると、街灯が少ない。また防犯カメラの設置を最優先すべき。(住民の安全と安心)

№43

集会施設の必要性を感じないです。防災グッズには倉庫があれば足り、貸館機能については、既存の公共施設の利用で足りると考えており、新たな箱物をつくる必要性を感じません。

№44

若い時には、さほど必要と思わず、もみじ館があるからと、思っていました。昼間人口は高齢者のみの現在ではやはり災害などあった場合、拠り所、連絡先など自治会で把握できた方が良いと思います。

便利になりすぎた現在では、想像できない位の田舎でした。“遠くの親戚より近くの他人”と言いますものね。ここが故郷になっている者として、活動に感謝しております。

№45

○折畳み長机、椅子の設置、ホワイトボードも。

○冷暖房器具の設置、できれば床暖房も。

○空気清浄機の設置。

○ピアノ設置。

○利用料金を定める。

№46

2022年10月29日 以下の理由で、自治会館建設に関して採決することには同意できません。

1. 本アンケート調査の設問は「建設可」に偏った内容となっており、アンケートの設問に疑問を感じます。

2. 2年前に事業規模(3,000万円)が提示されましたが、その後有意な情報が追加されておりません。事業規模の根拠も私には理解できておりません。約2年前に別添のご意見(下記、2021年1月9日付け「1月24日の臨時総会につきて」)をさせていただきましたが、その中で提起させていただいた問題に関する情報は私の読んだ範囲では「いずみに集う」には記載されておりません。

3. 現在の現貯蓄額(1,300万円)の中で、建設、維持、撤去(または建替)の費用をまかなう案、すなわち次世代に負担をかけない案を検討すべきです。原案は事業規模の根拠と効果が不明なまま、自治会員と次世代の負担が増すことになりかねないと感じます。さらに国も地方自治体も財政状況の厳しさが増す中で、地方自治体に負担(補助金)を求めることは、地方自治体の財政事情をさらに悪化させ、次世代への負担を増やす結果となることを考えるべきではないでしょうか。町田市の財政力指数は既に1.0を下回っており、国からの普通交付税でまかなわれている状態です。

4. 自治会への加入義務はなく、退会も自由(会員の自由な意思で退会が可能であることは最高裁での判例があります。)です。しかし、現会員は「この地区が将来にわたって住みよい地域であってほしいとの願い」を共通に持ち、そのためには地域の結びつきが大切であるという認識で私たちは自治会を組織していると思っております。その自治会で十分な説明や理解の醸成を行うことなう施策を実施すれば、納得のできない負担の増加によって地域を思う気持ちを共有出来なくなります。

ご高配のほどよろしく申し上げます。

2021年1月9日「1月24日の臨時総会につきて」

以下の理由で、1月24日に臨時総会を開催すること、および自治会館に関して議決することには同意できません。

1. 新型コロナの感染爆発が発生している中で多くの住民に原則出席を求める集会は不適切です。現在PCR検査の陽性率は10%を超えている状況で、10人集まれば1人は感染者が含まれる可能性があります。このような状況下で、多人数の集会を開くべきではありません。私たち一人一人が、感染しないあるいは感染させない行動をとる必要がありますから、個人の判断で多人数の集会に出席しないという選択が許されるべきです。これに対して、12月11日付の案内には「出席届」と「委任状」のみがつけられており、感染防止の観点から欠席を選択した人は意見を述べる機会や説明を聞く機

会を失うことになります。このような状況では、住民の総意といった決議は「人が実態で集まる形式」で行うべきでないと考えます。無理に行えば納得感のなさから自治会の内部に対立や崩壊の火種を残すことになりかねません。

2. 自治会館が持つ機能が不明瞭で、特に建設および維持に関するコスト見積が提示されていません。12月11日付の別紙資料2に活動上の課題として①資料の保管管理、②ふれあいまみじ館の利用、③防災隊打ち合わせ、④会議作業の4点があげられています。①については、既存資料のデジタル化することに加えて、資料の作成、配信、保存をデジタル化することによって、かなりの部分をハードディスクに収納できるはずで、あるいはクラウドサービスを利用すればデータの共有も簡単です。それでも残る部分を自治会館で保管ということになります。②については、別紙資料2に総会など多人数の集会は自治会館建設後もふれあいまみじ館を利用するとされていますので、少人数の集会ができればよい規模ということが読み取れます。オンライン会議を取り入れることによって、参加の利便性を向上させることができ、実態での参加人数を減ずることもつながります。オンライン会議は、スマートフォンがあれば簡単に接続可能で、旅行先からでも接続して参加が可能です。オンライン会議でよく使われているWebexやZoomは月額2,000円以下で契約が可能です。③についても、通常打ち合わせについてはオンライン開催することで解決します。資料は、メールによる事前配信、クラウドサービスによる共有、オンライン会議時の画面共有などで問題なく可能です。④は申し訳ありませんが、私の知識と経験不足により意味をくみ取ることができませんでした。これあの考察から、自治会館としては少人数の打ち合わせや顔を合わせることで、多少の資料と機材が保管できればよいといった建物の規模感が見えてきます。

しかし、12月11日付の別紙資料では、会館の持つべき機能や規模について示されないまま、4に事業費として3,000万円という金額が提示されています。また、現貯蓄額1,300万円にさらに200万円の積み増しを前提にしてその資金計画が示されていません。同資料の2には「日々の運用と長期維持管理の手間や費用が発生」と書かれていますが、その内容(たとえば火災保険等)や額に関する記載がありません。

さらに重要な点は、建設予定地は市有地とはいえ借地であるため、市の方針が変更になり、建物の撤去を求められた際には撤去費用が発生することです。したがって、撤去費用(または建て替え費用)をあらかじめ準備しておく必要がありますがこれに関する記載もありません。これでは突然世帯当たりの負担金を求められるといった事態を排除できず、そのような決議に賛成できません。

したがって、建設の必要性を問い、規模や資金計画の提示、これに対する住民意見の集約、計画への反映、といったサイクルを数回程度は繰り返して、必要か否かを含めた総意を醸成する課程が必要だと考えます。こうした課程をおろそかにして無理に議決を行えば、自治会の内部に対立や崩壊の火種を残すことになります。

私は転入して日が浅い住民ですが、この地区が将来にわたって住みよい地域であってほしいと願って自治会に入会しました。インターネットを検索しますと、自治会館建設の負担をめぐって住民間の対立や訴訟となったケースもみられます。自分の所属する自治会がそんな事態に陥ってほしくないと思うのは皆さんも同じだと思います。ご高配のほどよろしくお願いいたします。

№47

借りれば済むにも関わらず、月に数回使うか使わないか判らないもののために作るものではない。内心、反対している人が大多数。

№48

自治会館の運営組織はどのようなものになりますか。自治会役員の仕事にプラスアルファの役が回ってくるのだと負担です。

テレワークはセキュリティ、情報漏えいなど考えると実施が難しいと思います。防犯や管理上、グループ使用に限った方が良いでしょう。

№49

A団地の集会所（小田急金森自治会柳橋会館）を共同利用していた経緯から、この集会所建設は永年の悲願でした。防災拠点としても重要と考えます。なお、自治会事務局スペースについての情報をもう少し詳しく知りたいと思います。

№50

お疲れ様です。各種ありがとうございます。

自治会活動でコピー・印刷など現状非効率と考え、拠点が必要と考えます。一方で地形的・費用的に多くの機能を備えた施設は無理があると思います。最低限必要と考える内容に絞っていくことが現実的と考えます。下記私見です。

- ① 自治会・街づくり委員会の事務局機能（コピー・パソコン・打ち合わせスペースなど）
- ② 防災用品などの備蓄機能と活動拠点としての機能
- ③ 清掃用品・書類などの自治会活動に必要なアイテムの保管場所。

№51

自治会の会費収入は約100万円です。会館にその半分の50万円を使うのは妥当なのか疑問に思えます。会館という有形物を造ることは毎年、その支出は確保しなければなりません。それが果たして可能なのかの検討も必要かと思えます。

将来会員数がどうなるか分かりません。増やす努力は必要かと思えます。

そこで何をするのか、もし、存続を望まない会員がいたらどうするのかも検討することを望みます。

会館は建築できる資金はあるようです。持続可能かどうか、お示し下されば良いかと思えます。建築の体力はわかりました。その後の体力はどうなのでしょう。

№52

自治会館の稼働率をどのように想定されていますでしょうか？ 情報提供いただけると判断の参考になると思えます。

1-②に例示されていますが、自分にあてはめるとほとんど利用機会はありません。皆様の利用頻度が高いなら良いですが、そうでないのなら、市営や民間の他、施設を借りれば良いように思えます。投資額、運営コストを賃借費の補助にまわせると思えます。

不動産の管理や会館予約管理者はどのようにされますでしょうか？

№53

将来、費用負担が増えないような建築規模、維持費の工夫を望みます。

№54

会館管理方法の明確化、使用方法、貸出し方法等の明確化、重要書類等の管理方法と閲覧規定など実現に向けての取り決めを事前に決める事で、判断の材料になると思います。

№55

私は90歳代の老人です。ご近所の方々にお世話になって自治会の事には全く協力できません。今の所一人暮らし、将来の事は見通しができません。子供達は自分の家を持っていますので、この土地に住むのかもわかりません。集会所の設立は、私は賛成

いたしますが、次はどの様になるか不明です。仮にお掃除、草取りなどの当番になってもお役に立ちません。若い方々が引き受けて下さるにしてもとても心苦しいです。こんな地域をみても皆さん高齢者が多いので、運営が心配です。

№56

自治会館を建てるのであれば10年後、30年後を見据えて運用を検討して欲しい。タワーマンションにあるような会議室、パーティールームなどの共有施設を目指すか、最小限の機能とするか。

その上で、デメリットの精査をし可否の採決を行う必要がある。

将来的な負の遺産とならないか。現在の流れは小学校、公民館などを統合するように公共施設を縮小し、財源を確保するのが世の中であり、維持費がかかるものを建てるのは慎重にすべきと考える。また、施設の維持は誰が行うのか？ 役員が行う場合に役員のなり手不足や自治会員の退会につながらないか。

そもそもであるが、会館設立準備金50万円の積立金の積立方やそのお金を別に使用することで防災問題や他への使用を検討し問題解決しないか？

最後に自治会が使用しないことで高齢者施設「ふれあい館」が閉鎖されないのでしょうか？ 今ある施設を有効利用せず、自治会としては上記施設は不用なのか？ 不用であれば自治会館の利用率も低いと思う。維持費とその費用を別に役立てた案も検討し、建設ありきではなく将来の自治会（地区）のあり方を考えて欲しい。

№57

自治会員が高齢化してきて、共に活動ができなくなって来ていると思います。歩行も困難になってきます。会館の場所はなるべく住民の中間にあるべきかなと思います。会館があれば、いつ何時も話し合えることもできると自治会の運営もうまくはかどると願っています。また、空家が増えてきています。防犯・防災のためにも注意していただきたいと望みます。会館設立には関係はないですが、最近気になっていましたので、書かせていただきました。

№58

完成を楽しみにしております。

№59

私達の年代は会館があったらと思うことが数多くあり、会館建設は、永年の願望でした。世代交代の事も考え若い人達の意見も活発に9月4日「いずみに集う」第1号を今一度読み返して会館建設、自治会のあり方など考えて頂けたらと思います。

総会にも意見が出ましたが、みずき山周辺は暗いので防犯カメラ、街灯などで今少し明るく自然公園でわさび田とは異なるとは思いますが、考えて頂けたらと思います。

№60

小田急金森泉自治会館設立検討委員会への意見 2022年10月29日

前略 日頃より自治会運営にご尽力頂きまして、感謝申し上げます。

早速ですが、会館設立につきましてもの考察を簡単ですが述べさせていただきます。

現在に至るまでの役員皆様の多大なご尽力には本当に頭がさがります。ありがとうございます。

長年の課題、目標にしてきた事が今、現実味になってきたことと思います。

しかし会館は無いよりあれば良いとは思いますが、現在、本当に自治会費を1,500万円も出しての設立が必要な時代なののでしょうか？ 10~20年後の時代も必要で利用頻度があるのでしょうか？ 自治会の集会、事務所が、これから先に会館がないと運営に支障をきたすとは思えないのです。将来は、自治会の打ち合わせ等も、ますますリ

モート時代になると思います。

激変する社会において、やりたい事は他にいくつもあるかと考えます。例えば、泉自治会の中に防犯カメラを50個つけたら1か所10万円で500万円かかります。空き巣、窃盗、車上荒らし、痴漢等の犯罪を未然に防ぐ抑止効果にもなります。1例でしたが、数十年前の立案された時代とは世の中が大分変わりました。

会館設立後の維持費にも疑問が残ります。利用頻度が少なければ年間50万円で済むと思いますが利用頻度が多ければ冷暖房の光熱費等で予算を超えるかと考えます。積立金を使い切り、維持費に赤字になり、本来の自治会の活動を圧迫させるのは本末転倒です。

また泉自治会の中に空き家は何軒かあると思いますが、賃料をお支払いして利用させて頂く方法はないのでしょうか？ 年間50万円の賃料プラス光熱費年間30万円としても10年で積立金は1,200万円以上は残ります。もしくは、50万円程度が自治会の基礎体力なら、積立金を使わず、50万円を年間の集会、会議費に使って頂く考えはどうでしょうか？（市の施設の会議室等、交通費）

役員の皆様のここまでのご苦勞も顧みず、勝手な意見を申し上げました。お詫び申し上げます。会館設立を100%反対しているわけではありません。でも賛成も出来かねます。再度、ご検討の程、宜しくお願い申し上げます。

№61

特にございませぬ。

№62

ランニングコストの詳細と利用目的が明確であれば賛成です。